

西宮野球協会支部大会運営規則（西宮野球協会登録一般チーム用）

令和8（2026）年1月 西宮野球協会 会長 大迫 純司郎

第1条（試合規則）

- 1、全試合、7回戦ゲームとします。
- 2、試合は、1時間30分、決勝戦は1時間40分を超えて新しいイニングに入りません。
また、後攻が勝っている場合、先攻の攻撃終了時、残り時間が10分以内であればその時点で打ち切ります。
なお、試合会場の使用時間（借用終了時間）の関係で、試合時間が1時間40分を超えた時点で打ち切る場合が有ります。
- 3、決勝戦を除く全試合、同点の場合は抽選または他の方法で勝敗を決します。
決勝戦は同点の場合タイブレーク方式を最大2回行い、なお、同点の場合抽選とします。（イニング・時間は早い方を優先します。）
- 4、全試合、3回以降10点差、5回以降7点差をもってコールドゲームを適用します。
- 5、指名打者ルールを使用することが出来ます。
- 6、投手の12秒及び20秒ルールを適用します。
- 7、試合中降雨または日没や会場の使用時間終了の場合は、5回終了をもって成立するものとします。
なお、その時点で同点の場合は再試合とします。

第2条（用具等注意事項）

- 1、同一チームの各プレーヤーは同色、同形、同意匠のユニフォーム、同色のアンダーシャツ及びストッキング（アンダーソックスのみでの使用は認められません、必ずストッキングを着用のこと。）でなければならぬ。
スパイクについては、制限はありません。（同色のもので無くても良い。）。なお、ユニフォームの左袖のマークは、近畿大会以上は日本語かローマ字による都道府県名をつけなければなりません。また、背中に選手名をつける場合は、全員が背番号の上にローマ字の姓のみとしてください。ただし、同姓の者がいる場合、名の頭文字を入れても結構です。その他、全日本軟式野球連盟の規程および、細則に準ずるものとします。
- 2、金属バットは、JSBB公認（JSBBのマーク入り）のものを使用しなければなりません。
- 3、捕手のマスク（SGマーク付き）、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガーズ及び、打者が使用するバットは（公財）全日本軟式野球連盟公認の用具を使用してください。
また、ファウルカップの着用は、支部では義務付けられていませんが、怪我の予防のため着用が望ましい。
なお、上部大会では、義務付けられています。
- 4、打者、次打者及び走者は、JSBB公認ヘルメットを着用しなければなりません。〔5個以上（満塁時、走者3名と打者と次打者の計5名分が必要です。）持参してください。〕また、ベースコーチ（ランナーコーチ）も怪我の防止のため、ヘルメット着用が望ましい。（上部大会では、義務付けられています。）
- 5、投手のグラブは、縁取りを除き白色・灰色以外のものとし、縁取り、しめひも、縫い糸を除く本体（補球面、背面、網）は同色でなければなりません。なお、しめ紐等は奇抜な色は使用しないでください。
- 6、アームスリーブは、野手は色の制限なしで片袖可、投手はアンダーシャツと同色で両袖着用とします。

第3条（競技運営上注意事項）

- 1、試合中の禁止事項（全日本軟式野球連盟取り決め事項に基づく）
 - ・もめごとなどのとき、審判員や相手側プレーヤーに手をかけることを厳禁します。万が一暴力事件が発生した場合、当日の試合を没収試合としそのチーム並びに当該選手を登録抹消等厳重な処置を行います。
 - ・競技場内での素振り用パイプ、及びリングの使用を禁止します。

- ・投手が手袋と手首にリストバンド、サポーターなどを使用することを禁止します。

なお、負傷で手首に包帯などを巻く必要があるときは、球場責任審判員の承認が必要です。

- ・足を高く上げてのスライディングは、危険防止のため禁止します。(守備妨害になります。)
- ・相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁します。また、応援の方も同様とします。

- 2、試合に出場出来る選手は、登録メンバーで大会ごとの参加申込書に記載されたメンバーに限り、記載されていない者は出場出来ません。もし、違反する者が判明したときその試合を没収し、その後の大会参加を認めないなど厳重な罰則を適用します。
- 3、試合中のもめごとは、その試合の担当審判が責任をもって処理するが、審判員が裁定に苦しみ時、あるいは、カウント、ルールの間違いについては、控審判員がその解決にあたることができ、その裁定は最終的なものとします。
- 4、市営球場での試合前のキャッチボール・素振りやアップ等は、禁止されている場所がありますので、必ず球場責任審判員の指示を受けた上で行ってください。特に津門野球場での北側の防災公園や駐車場等で絶対行わない様にしてください。
- 5、運営上、試合開始時刻を早める場合がありますので、30分前には試合が出来る状態で集合してください。
- 6、雨天の場合でも、グラウンドが使用可能な状態の場合は試合を執行する場合があります。また、大会運営上、雨等によりグラウンドコンディション不良の場合でも、試合時間を遅らせる場合があります。
- 7、試合中降雨または日没の場合の継続か中止するかは、球場責任審判員の判断で決定するものとします。
- 8、球場や学校の管理者等の都合により、当日の試合が急遽中止や時間変更になることがあります。
- 9、グラウンド内のファウルボールは、1塁側に飛ばば1塁側が、3塁側に飛ばば3塁側のベンチが、バックネット前及びグラウンド外は攻撃側が取りに行き、攻撃側チームより球審に手渡してください。
- 10、試合を無断で棄権した場合は、審判部による資格審査により次回の大会の参加を認めない場合があります、やむを得ず棄権する場合は、必ず事前に連絡してください。相手チームが棄権した場合の練習は時間制限による練習ができるものとします。なお、その練習は試合が出来る状態でなければなりません。(メンバー9名以上が必要となります。)
- 11、大会は、運営上異なる大会を併行して行うことがあります。また、暦年をまたがることもあります。
- 12、試合の日程調整(理由は、チームメンバーの結婚式や会社の行事等に限る。)を願い出るチームは、登録時にお渡しします「試合日程調整願書」を必ず提出してください。電話での受け付けは行っておりません。
- 13、大会参加中の怪我や車両事故並びに、試合中の打球等による人身や駐車場等の車両への損害賠償については、全てチームの責任において処理してください。西宮野球協会・開催主催者・西宮市は一切の責任は負いませんので、チームで保険加入して下さい。
- 14、球場周辺の駐車場や駐輪場等を利用される方の車両等にボールが当たって車両等が破損した場合、全て自己責任で処理してください。西宮野球協会・開催主催者・西宮市・当該ゲームを行っているチームは、損害賠償については、一切応じかねます。打球等が飛んでくる危険性の有る駐車場や駐輪場等を利用される場合は、危険承知で駐車等をされたとみなしますのでチーム関係者や応援に来られる方に、その旨十分ご理解いただき周知徹底をお願い致します。

第4条 (中学校グラウンドにおける使用について)

※ 中学校グラウンドにおける使用については、別途「中学校グラウンド使用規則」に基づくものとする。